

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

(退職給付引当金)

役職員の退職給付の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	34,423,830	38,319,730	34,423,830	38,319,730
投資有価証券	2,965,576,170	200,298,500	204,194,400	2,961,680,270
小 計	3,000,000,000	238,618,230	238,618,230	3,000,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	7,677,000	1,329,000	2,866,000	6,140,000
小 計	7,677,000	1,329,000	2,866,000	6,140,000
合 計	3,007,677,000	239,947,230	241,484,230	3,006,140,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	38,319,730	(38,319,730)	(-)	(-)
投資有価証券	2,961,680,270	(2,961,680,270)	(-)	(-)
小 計	3,000,000,000	(3,000,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当預金	6,140,000	(-)	(-)	(6,140,000)
小 計	6,140,000	(0)	(0)	(6,140,000)
合 計	3,006,140,000	(3,000,000,000)	(0)	(6,140,000)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
三菱東京 UFJ 銀行第7回期限付劣後社債	100,000,000	101,490,000	1,490,000
三菱東京 UFJ 銀行第9回期限付劣後社債	100,437,647	102,589,000	2,151,353
三菱東京 UFJ 銀行第32回期限付劣後社債	100,000,000	103,496,000	3,496,000
第62回三井物産社債	101,426,723	106,282,000	4,855,277
第61回利付国債	198,813,200	209,640,000	10,826,800
三菱東京 UFJ 銀行第32回期限付劣後社債	100,723,400	103,496,000	2,772,600
三菱東京 UFJ 銀行第32回期限付劣後社債	201,406,400	206,992,000	5,585,600
三菱東京 UFJ 銀行第32回期限付劣後社債	100,564,300	103,496,000	2,931,700
BTMU キュラソーホールディングスユーロ円建期限付劣後債	100,000,000	103,412,000	3,412,000
三菱東京 UFJ 銀行第35回期限付劣後社債	101,073,600	104,147,000	3,073,400
第35回日本郵船社債	100,325,900	103,403,000	3,077,100
第14回旭硝子社債	100,344,500	103,782,000	3,437,500
第11回三菱UFJ信託銀行社債(劣後特約付)	101,522,200	104,201,000	2,678,800
第89回住友不動産社債	101,192,400	103,940,000	2,747,600
第98回丸紅社債	201,597,900	207,900,000	6,302,100
第4回三越伊勢丹ホールディングス社債	101,492,300	103,920,000	2,427,700
第97回住友不動産社債	100,536,300	103,803,000	3,266,700
第334回利付国債	50,223,500	52,110,000	1,886,500
モルガン・スタンレー ユロ円債ステップアップ債	100,000,000	98,843,000	▲1,157,000
BPCE 第7回円貨社債	100,000,000	102,730,000	2,730,000
BPCE 第8回円貨社債	100,000,000	101,890,000	1,890,000
第4回MUFG 永久劣後債	100,000,000	101,221,000	1,221,000
第5回MUFG 永久劣後債	200,000,000	207,364,000	7,364,000
三菱UFJフィナンシャルグループ第7回無担保永久社債	100,000,000	103,184,000	3,184,000
三菱UFJフィナンシャルグループ第9回無担保永久社債	200,000,000	203,548,000	3,548,000
基本財産(債券)合計	2,961,680,270	3,046,879,000	85,198,730

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	148,785	148,784	1
合 計	148,785	148,784	1

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息(指定)	35,930,826
合 計	35,930,826

7. 金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

当財団は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券及び定期預金により資産運用します。尚、外貨建運用及びデリバティブ取引は行わない方針としています。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券発行体の信用リスクについては、定期的に把握し、理事会に報告します。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

金融商品の取引は、当財団の資産運用規程に基づき行います。資産運用規程の改定には、理事会の承認を要します。